

ICLS研修について

◆ICLSコースのご案内

現在、東名厚木病院では、年に3回ICLSコースを実施しています。

ICLSとは、心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目的としたコースです。ICLSコースでは、講義をほとんど行わず、実技を中心としたコース内容になっています。受講生は少人数に分かれ、実際の現場に即したシュミレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生に必要な技術や、心肺蘇生の現場でのチーム医療を身につけます。

◆ICLSコース目標

- ①蘇生を始める判断ができ、行動に移すことができる
- ②BLSに習熟する
- ③AEDを安全に操作できる
- ④心停止時の4つの波形を診断できる
- ⑤除細動の適応を判断できる
- ⑥電気ショックを安全かつ確実に行うことができる
- ⑦状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ⑧気道が確実に確保できているかを判断できる
- ⑨状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ⑩治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

◆コース認定基準

- 1、「突然の心停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得すること」を含む
- 2、実技を中心としたコース
- 3、スキルセッションとシナリオセッションを含む
- 4、1グループ5～6名を標準とする
- 5、認定コースディレクターがコースディレクターとなり、コースの質を保証する
- 6、各ブースに1名以上の認定インストラクターがおり、各ブースの質を保証する

当院は、上記の基準を満たしたうえで日本救急医学会にコース申請して、認定コースとして認められています。

※ ICLS（日本救急医学会）のホームページ上でも、認定コースとして認められていることが確認できます。（開催予定コース一覧をクリック → 神奈川県）

◆ICLS受講終了時に配布するもの

- ①ICLSコース修了証（認定コース番号が書かれているもの）
- ②ピンバッジ

ICLSコースは日本救急医学会認定コースなので、日本全国で通用する資格となります。自己研鑽や、急変時の対応を勉強したい方、チーム蘇生を学びたい方、心肺蘇生のガイドラインを学びたい方は、ぜひ受講されることをおすすめします。

受講を希望される方は、期日までに受講申込書へ記載し、事務局までお願い致します。医療従事者の方ならばどなたでも受講可能です。

医師・看護師・薬剤師・放射線技師・ME・PT・医療事務など、様々な方が対象です。

※当院のICLSコースは、当院のBLSコースまたはAHAのBLSを受講された方が対象となります。

受講終了後は、アシスタントインストラクターの資格を得ることができ、自分が希望すればインストラクターになる事もできます。

◆インストラクターになるには

ICLSアシスタントインストラクターとして認定ICLSコースで3回以上の指導を行い、且つICLS指導者養成ワークショップを終了したもの